



2010年4月20日  
東日本旅客鉄道株式会社  
東京急行電鉄株式会社

## JR東日本と東急電鉄は、2011年2月から

「Suica付学生証(社員証)」と「PASMO付学生証(社員証)」を相互提供します

～学生(社員)がSuicaかPASMOを自由にお選びいただけます～

東日本旅客鉄道株式会社(東京都渋谷区、代表取締役社長 清野 智、以下「JR東日本」)と東京急行電鉄株式会社(東京都渋谷区、代表取締役社長 越村 敏昭、以下「東急電鉄」)は、ICカード学生証(社員証)に定期券等の交通乗車券機能を併せもった「Suica付学生証(社員証)」と「PASMO付学生証(社員証)」を、相互に提供するスキームを構築し、2011年2月を目処に提供を開始することに合意しました。

「Suica付学生証(社員証)」と「PASMO付学生証(社員証)」は、これまで別々に営業展開してきました。しかし、「Suica付学生証(社員証)」には私鉄・地下鉄が発行する定期券を搭載できず、一方「PASMO付学生証(社員証)」にはJR東日本などが発行する定期券を搭載できないため、学校(企業)の所在地や学生(社員)の居住地によっては定期券との2枚持ちになることから、学生(社員)がどちらかを選択できるようにしてほしいとのご要望を頂戴しておりました。


これを受け、JR東日本と東急電鉄は協議を重ね、「Suica付学生証(社員証)」と「PASMO付学生証(社員証)」の仕様や管理運用業務を統一し、ひとつの学校(企業)に「Suica付学生証(社員証)」と「PASMO付学生証(社員証)」を提供し、学生(社員)がいずれかを選択できるようにしました。これにより、定期券を搭載できる範囲が広がり学生(社員)のサービス向上につながるとともに、学校(企業)では高機能でリーズナブルな「Suica付学生証(社員証)」「PASMO付学生証(社員証)」の両方を学内(社内)システムで同じように利用することが可能となります。

なお、「Suica付学生証(社員証)」および「PASMO付学生証(社員証)」は、学校(企業)にカードや学内(社内)ICカード認証システムの納入を行う提携システム会社(東芝プラントシステム株式会社、東急建設株式会社、サクサ株式会社)、学生証(社員証)に必要な情報の管理・連携を行う発行管理会社(Suicaは東急電鉄または東芝プラントシステム株式会社、PASMOは東急電鉄)との連携により、ご提供します。

Suicaは、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

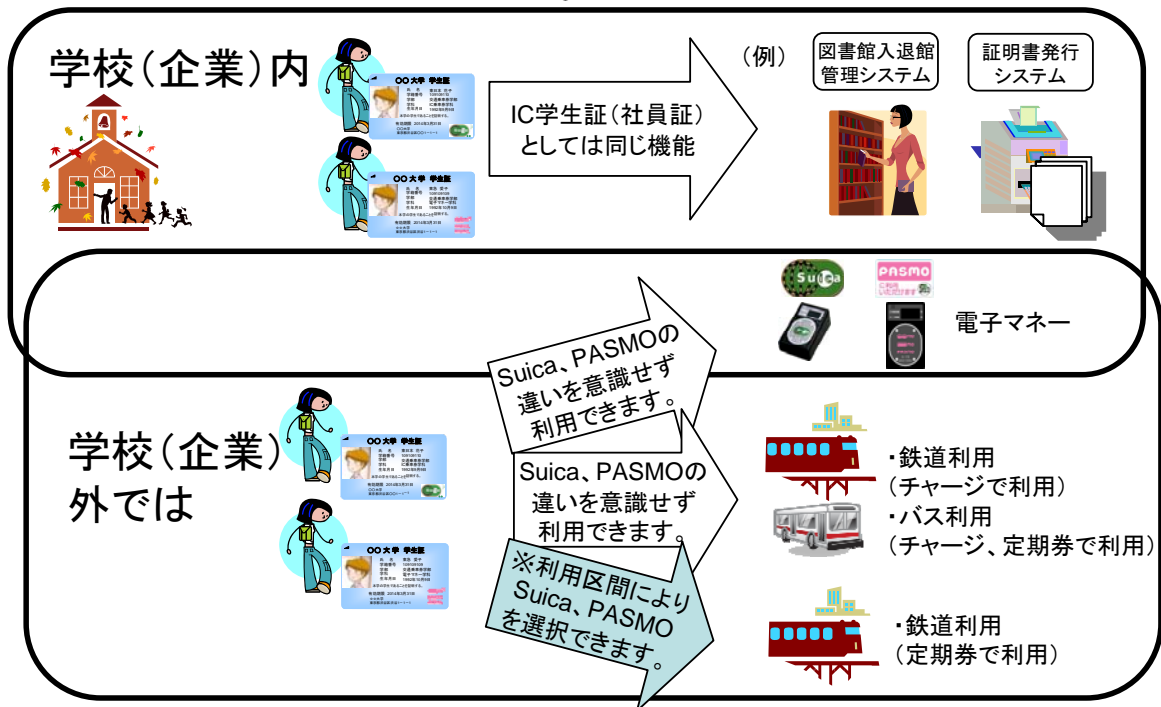
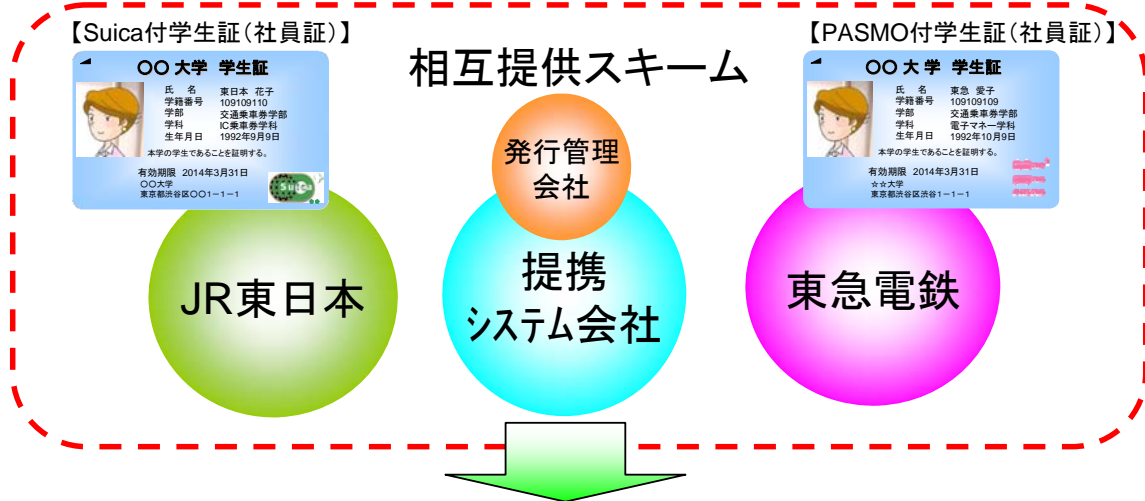
PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。

株式会社パスモ商標利用許諾済 第64号(東京急行電鉄株式会社 許諾)

PASMOマーク  及び **PASMO** は株式会社パスモが本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

～相互提供とは～  
Suica付学生証(社員証)とPASMO付学生証(社員証)の両方を、  
ひとつの提携システム会社にご提供いたします。  
2011年2月から導入可能です。

カード発行に関わるJR東日本、東急電鉄への情報連携等を、ひとつの提携システム会社が  
一元的に取り扱うことにより、学校さまは円滑に両カードの導入・運用を行うことができます。



- ※ Suica 付学生証(社員証)には、JR 東日本で発行可能な Suica・PASMO エリアの定期券(連絡定期券含む)が搭載可能です。
- ※ PASMO 付学生証(社員証)には、東急電鉄・京浜急行電鉄・東京地下鉄・東武鉄道の 4 社で発行可能な PASMO・Suica エリアの定期券(連絡定期券含む)が搭載可能です。